

## 今年度の検討項目・スケジュール（案）

危険物を大量に貯蔵する屋外タンク貯蔵所は、過去の甚大な流出事故等の教訓を踏まえ、補修工事や保安検査等の際には各種検査を行い、その健全性を確認することとされているが、現在の検査方法の中には多くの時間や費用がかかるものもある。

これを踏まえ、タンク底部の腐食防止用のコーティングを一度剥離して溶接箇所欠陥の有無を確認する溶接部検査や、大量の工業用水を使用して変形や漏えいの有無を確認する水張検査について、検査水準を確保したうえで新しい技術を用いて検査方法の高度化・合理化を図るため、新しい検査方法に必要な性能、運用方法等について検討を行う。

本検討会の検討期間は3ヶ年（平成28年度～30年度）を予定しており、今年度は次の事項について検討を行う。

### （1）屋外貯蔵タンクの底部のコーティング上からの溶接部検査

開発が進んでいる超音波技術の一つであるフェーズドアレイを用いた検査機器の性能を把握するとともに、解決すべき課題等を整理する。

### （2）屋外貯蔵タンクの底部の溶接部補修に伴う水張検査

タンク底部の溶接補修等の実態や熱影響について検討し、解決すべき課題等を整理する。

## 今年度の検討スケジュール

開催回	開催時期	検討事項	
第1回	9月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の検討事項</li> <li>・今年度の進め方</li> </ul>	
WG	第2回の検討会 までに3～4回 程度	（1）	（2）
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイズドアレイを用いた検査機器の性能調査</li> <li>・溶接部の有害さに関する調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底部溶接補修の実態調査</li> <li>・水張検査時の不具合事例等の調査</li> <li>・溶接補修部の熱影響に関する検討</li> </ul>
第2回	3月ごろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査のまとめ</li> <li>・課題の整理</li> <li>・来年度の検討項目の抽出</li> </ul>	

### 【平成29年度】

- ・フェーズドアレイを用いた検査機器に必要な性能等を検討し、実タンクによる実証試験等を行う。
- ・溶接補修部の熱影響に対するシミュレーション解析、試験等を行う。

### 【平成30年度】

- ・フェーズドアレイを用いた検査機器の運用方法等について検討を行う。
- ・実タンク等による溶接補修の熱影響の解析結果の検証及び水張検査の代替試験に関する検討を行う。